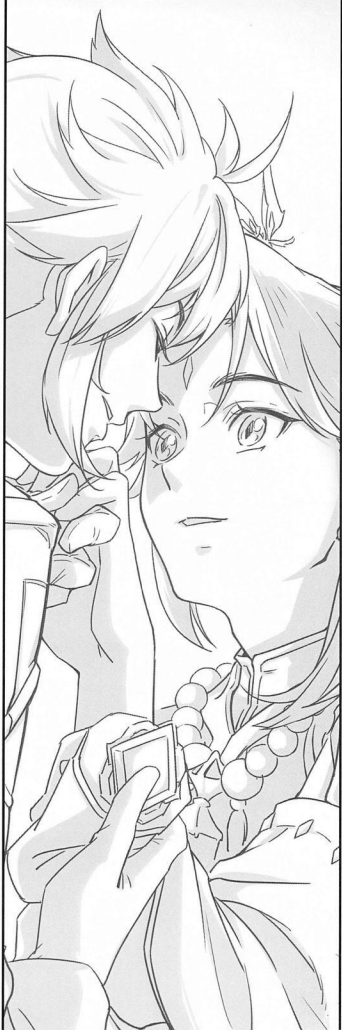


FOR
R18
ADULT ONLY

愛の楔

Z H O N G L I × X I A O
GENSHIN IMPACT fan book #1 PRESENTED by Yao



この本は個人による非公式
ファンブックです。
制作会社ならびに原作者様
とは一切関係ありません。

これは、旅人が璃月で過ごした三回目の海燈祭の物語り…



旅人 花火しようぜ！
 魘もきつと見える
 はずだ



たまに休んで
 欲しいね

魘！
 もう
 行っちゃったなあ



パッ

パッ

世の祭には喜
 ばしい物が多い
 だが
 毎年この時期になると
 避けたくなる…



親友団円な日ほど
 我は…



花火を一緒に
楽しむ者たちは…

すでに去った



みんな
帰る場所がある



我だけが
原地に囚われ続けた

随分ついたらもう

出てこい



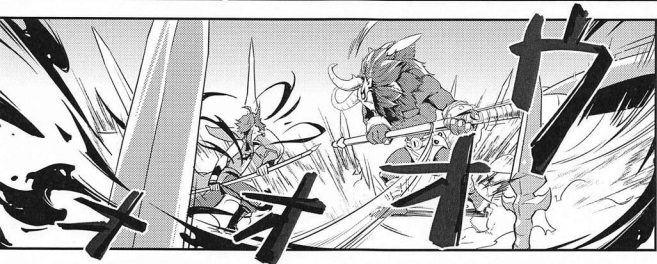


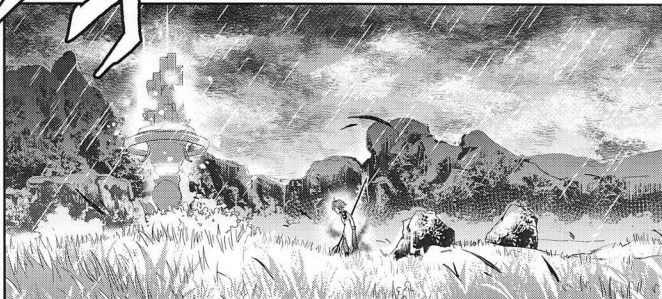
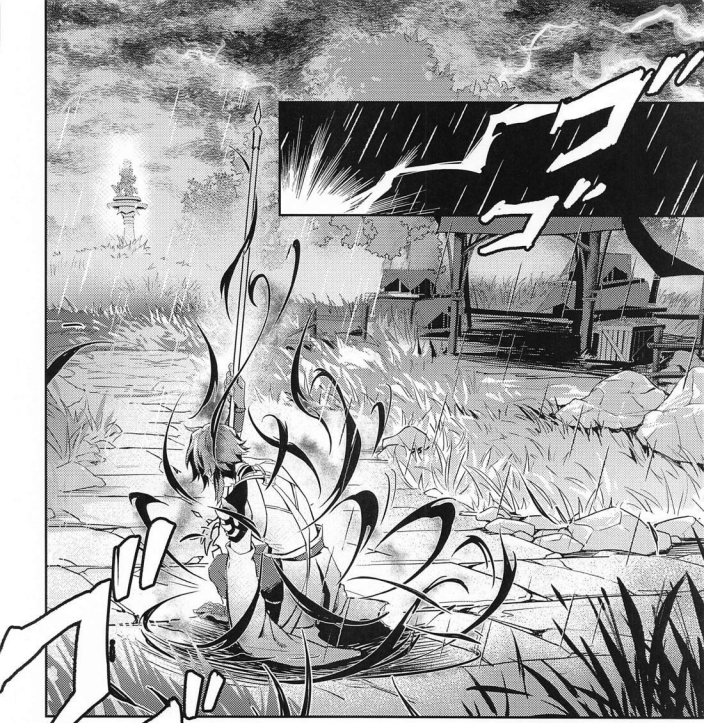
舞

舞

舞

舞







いや

往生堂の…
客脚殿



帝君…



なぜ
貴方様まで
変わって
しまった

これも…

報いなのか…



我は…
どうすれば…



う!

アツイ

イタイ…

クルシイ





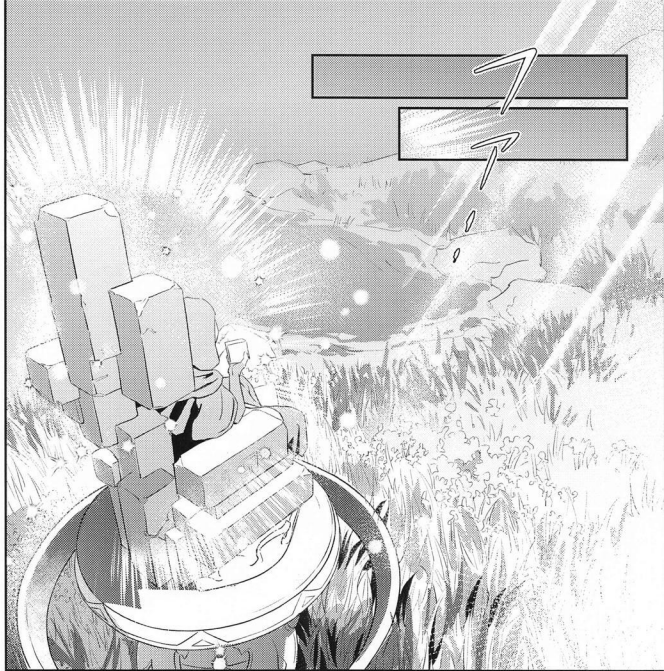
鍾離でいい



今の俺は
璃月港で一人の人間
として生きている



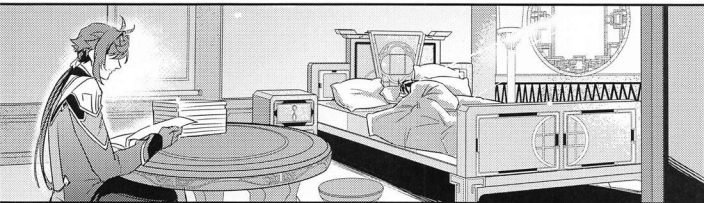
なぜだ!



…
ご苦労

翌日

望舒旅館





もう二日も
経ったぞ

鍾離様はなぜ
こちらに？
往生堂におられる
はずでは…



二日!?!
もう限界か…

祭りなのに
こんな傷だらけに
なって…



ただの
かすり傷です

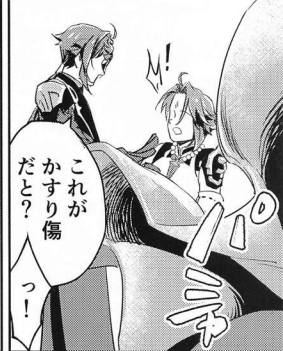



うっ!
海灯祭の時期は
妖魔が活発になる故

矢も得なく…

やっ!
やっ!








層岩の時もそうだ

危ういと知り
ながらどうしても
行こうとした



五百年経っても
お前は彼らのことを
忘れたことがないと
知っている



だが！

たかが妖魔風情で
命をかけるなど

俺との契約を
背けるつもりか！



断じて、
そんなつもりは…
我はただ!



ただ?



…



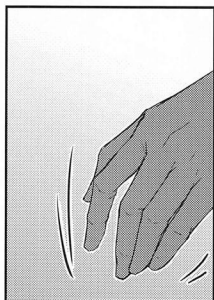
我はもう…
限界近づいて
きました

ギョッ

そんなこと
なるなら…



いっそ
今死んだ方が
璃月のためになる
とかが?



て、帝君！

こ、これは
摂理に反します

俺はもう神の心を
持っていない
岩神ではない

ただの人間だ

なぜ人間に
ならなくては
いけないのですか？

俺の答えは
お前の道標には
なれない

お前が
自分の答えを
探すべきだ

だが
我は…



人になれるのが

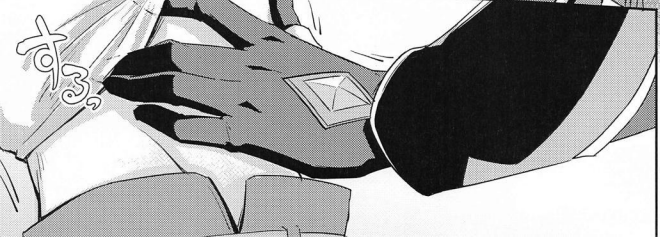
…我のような者でも



手伝ってやろう

無論だ







な、なななっ
なぜそれをつ！

七天神像…

神像は神の分身
璃月の地に
鎮する物

俺はこの地に生きる
全ての生き霊を守っている

無論
お前もその一員だ

それとも

魑は俺の治療を
受けたく
ないとか？

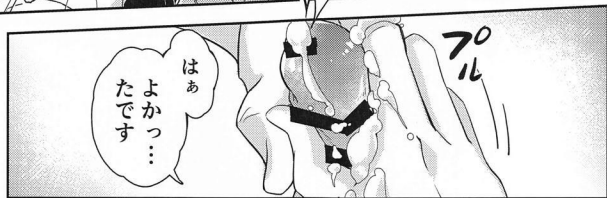
まっ！

どい

…

ん







あ!

帝君…




…手

太ゆ…




お前は訊いたな
なぜ俺が
人になると…




お前と一緒に
俺の魂も

この長い年月の中で
磨耗している


若き頃いつも
自分が世の全てを
見渡せると勘違い…



自分も
生霊である事を
等閑視した



生きとし
生けるものなら
必ず欲があり



この最期の間に
愛する者と共に
過ごせるよう



俺の

唯一つの望みだ



魁

この最期の契約
俺と交してくれるか？



幸甚です。






魁?



帝君



俺の真名を
呼んで

モラクス様

良く見てて

悪しき魔神から
我を救い出した神様…

モラクス

この一生御供します

我が主君

我を…

見届けて





我だけの主君

は。

あっ



きゅん



は...
動いて...



きゅん



は...



気持ち...

良いです



俺も気持ちいいぞ



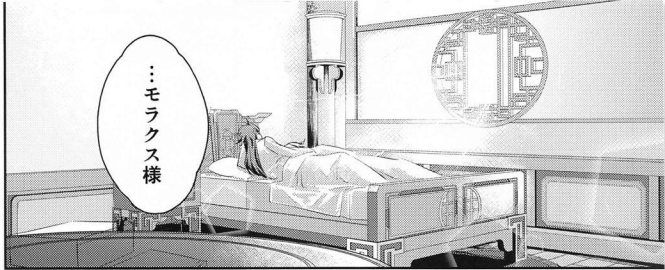








我だけの
モラクス



…モラクス様



どうした？



その



こんな時
人間なら何を
話すでしょう…





愛の楔

ZhongLi × Xiao

GENSHIN IMPACT fan book #1

PRESENTED by Yao

